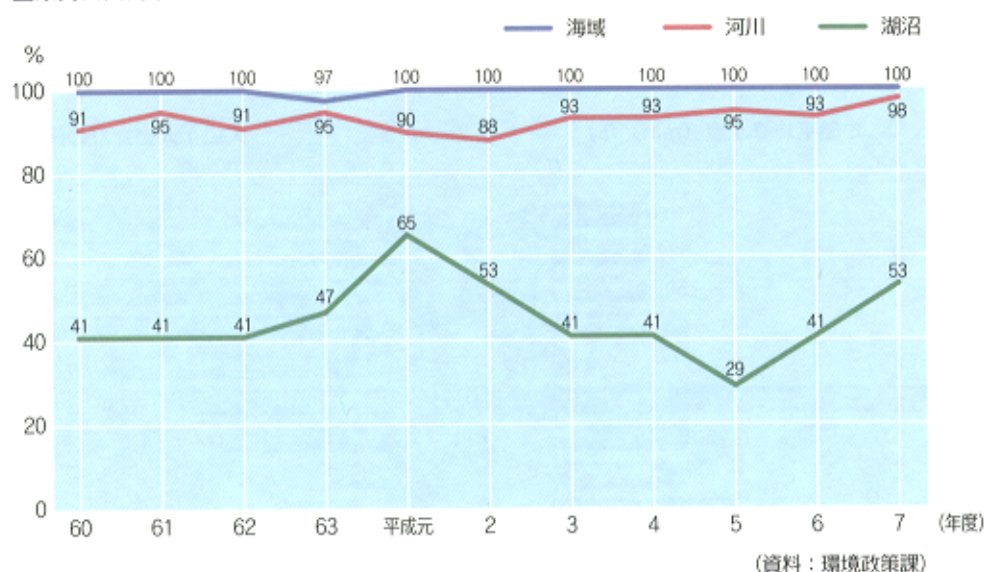




③海域では、健康項目・生活環境項目のいずれの項目も、すべての地点で環境基準を達成しています。

■県内公共用水域の環境基準達成率の推移（BODおよびCOD）



(2) 地下水汚染

福井の水道水は全国に誇ることでできるおいしさを保っています。その理由の一つとして、本県は、水道水源の約74%を地下水で賄っており、全国第3位の地下水依存率となっていることが上げられます。

飲料水といった面から見ても、地下水が極めて貴重な資源となっている一方、地下水はその流れが著しく遅いことなどから、いったん汚染されるとその回復は極めて困難です。

そこで、県では、平成元年度から地下水の水質常時監視を実施しています。

7年度までの調査により、県内の11地区でトリクロロエチレンやテトラクロロエチレンなどの地下水汚染が認められています。

(3) 水資源

日本の降水量は、諸外国に比べて多く、世界平均の2倍ですが、日本は国土が狭くかつ人口も多いことから、国民一人当たりによれば、世界の平均値の5分の1にすぎません。河川などの表流水であれ、地下水であれ、水は重要な資源です。

ところが、地下水については、法律上その利用権が土地の所有者に属しているものと考えられており、このため一般に地下水は「私水」とされているとされています。

しかし、地下水は県民共有の財産でもあることを県民の共通意識として定着させる努力が必要です。